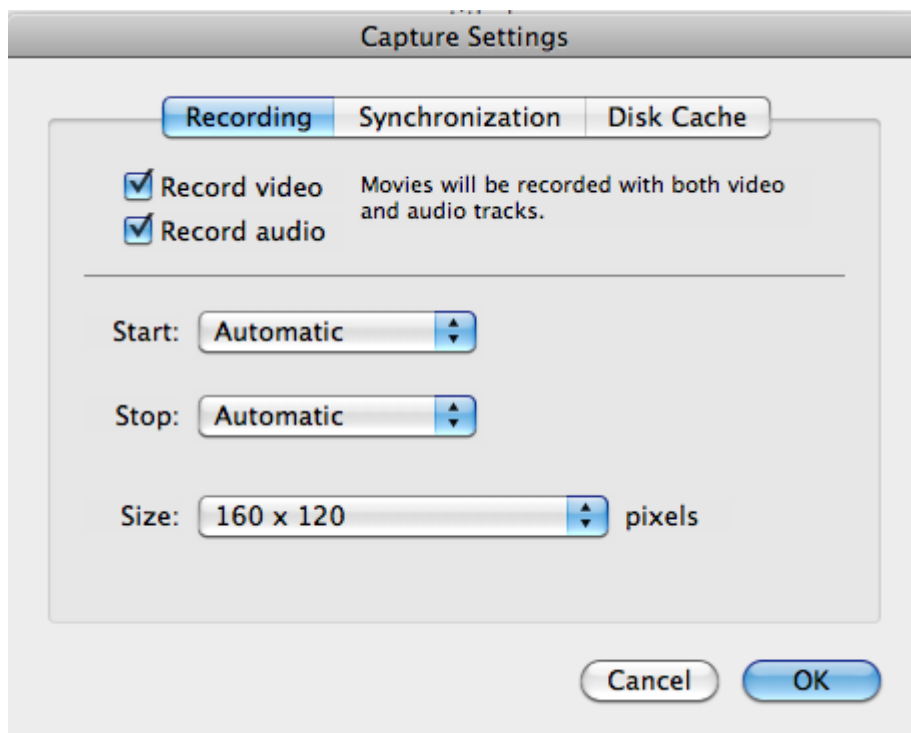


## Video Capture モジュール (Mac 版) 簡易操作マニュアル

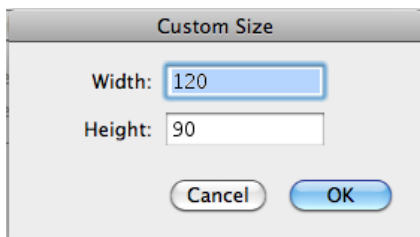
### 【設定】

1. コンピュータに PowerLab とウェブカメラ（もしくは、USB 接続のアナログ-デジタル変換機）を接続し、LabChart を立ち上げます。
2. メニューバー>Capture>Capture Setting を選択します。

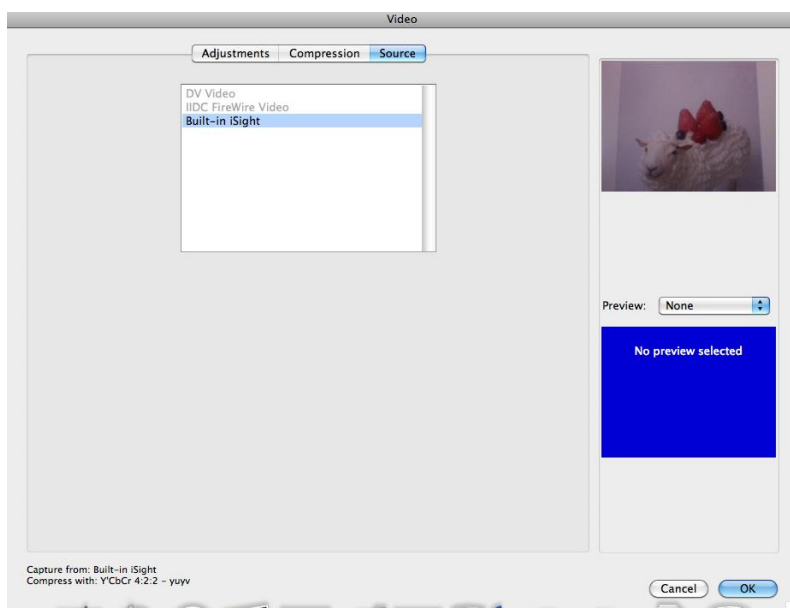


- 「Record video」（必要であれば、「Record audio」にも）チェックをいれます。
- 「Start」条件を設定します。
  - Automatic—波形記録開始と共に録画を開始します。
  - Manual—波形記録開始後、メニューバー>Start Recording をクリックすると録画を開始します。
  - Internal Timer—波形記録開始後、指定時間が経過すると録画を開始します。
- 「Stop」条件を設定します。
  - Automatic—波形記録停止と共に録画を停止します。
  - Manual—録画開始後、メニューバー>Stop Recording をクリックすると録画を開始します。
  - Fixed Duration—録画開始後、指定時間が経過すると録画を停止します。

- 「Size」で録画の画像解像度を設定します。  
ドロップダウンリストの「Edit Custom」をクリックすると任意の値を設定できます。



3. 「OK」をクリックすると、VideoPreview が表示され、指定されたカメラで撮影されている映像が表示されます。
4. メニューバー>Capture>Video Setting を選択します。

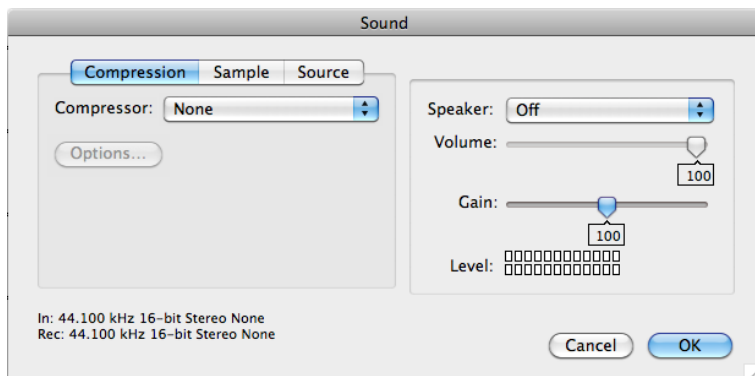


Source タブ - 使用するデバイスを選択します。

Adjustment - 録画の調整を行います。

Compression - 動画データの形式や圧縮の設定を行います。

5. メニューバー>Capture>Audio Setting を選択します。



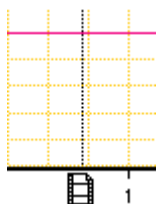
録音の調整や圧縮の設定を行います。

## 【記録】

6. 波形記録を開始させ、設定した「Start」設定のように録画を開始させます。
7. 波形記録を停止させます。

録画された動画が表示されます。

動画を再生すると、Chart ビュー上で黒点線のラインが表示され、動画の時点での波形を確認することができます。



時間軸上のフィルムアイコンをクリックし、左右に移動させることで、その時点の動画を表示させることもできます。

## 【保存】

8. LabChart データを保存します。

メニューバー>File>Save as を選択します。

保存された同じ階層に「(ファイル名) Movies」というフォルダが作成され、その中に動画データが保存されます。

★動画は、ブロックごとに分割して保存されます。

★LabChart のファイル名、動画のフォルダ名は変更しないでください。

★可能な限り、LabChart データファイル、動画フォルダの移動は避けてください。  
(移動する際は、LabChart データファイル、動画フォルダを同じ階層に保管下さい。)

⇒LabChart データと動画データの同期のためのリンクが壊れる恐れがあります。

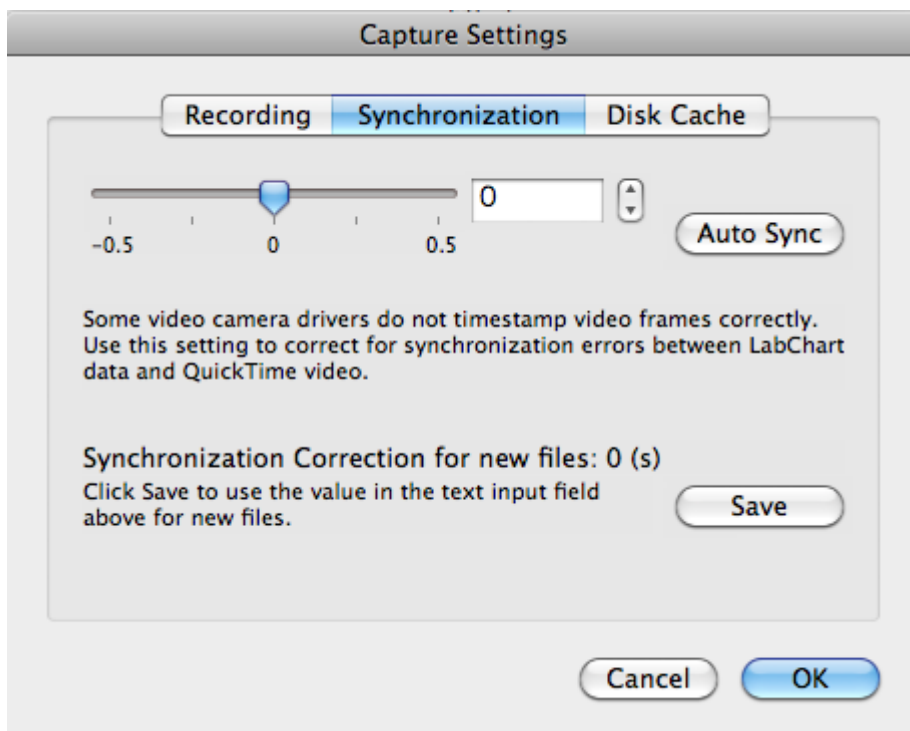
一度リンクが壊れますと、リンクを復元することはできませんのでご注意ください。

★1 ブロックの時間が長いデータを保存する際、動画データの書き込みに時間がかかり、場合によってはエラーが発生する場合がございます。コンピュータのスペックによりますが、長時間の録画が必要な場合、一定時間で分割して記録するようにするか、録画品質を下げることを推奨します。

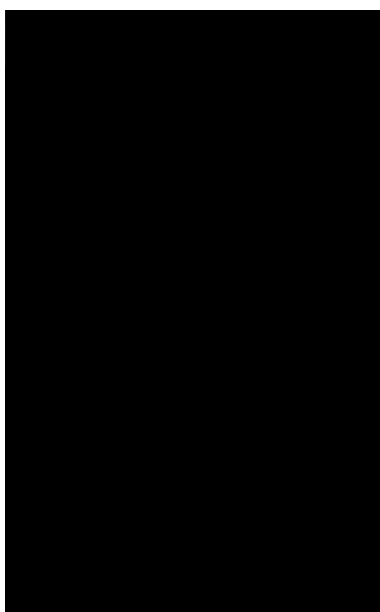
★Mac 版で保存した LabChart データファイルと動画のリンクは、Windows 版で開く際は切断され、再生することはできません。

### 【その他の機能：動画と波形の同期調整】

1. メニューバー>Video Capture>Setting を選択し、「Synchronization」タブをクリックします。



2. 同期のためのずらす時間を入力するか、「Auto Sync」をクリックします。
3. 「Auto Sync」をクリックすると下記のような画面が交互に表示されます。



点滅している間、この画面をカメラで撮影してください。自動的に同期を行います。